

## 第4号議案 2020年度事業計画

### 1) 第63回定時総会

- ・ 2020年6月26日(金)に、第63回定時総会を開催する。新型コロナウイルス感染防止の観点から、オンライン参加を併用する形で開催予定。

### 2) 出版関係

#### ①日本画像学会誌

- ・ 2020年度分6冊を発行する。
- ・ 2019年度までと同様、全英文論文掲載のクラスタ論文誌を本年度も予定している。
- ・ 懸案であった論文のオープン化を実行に移す予定である。

#### ②テキスト出版

- ・ 出版委員会を組織化して、新規出版準備(「画像処理」、「有機半導体」、「3Dプリンター」)を継続する。「画像処理」については、2020年10月発刊を予定している。

### 3) International Conference on Advanced Imaging 2020 (ICAI2020)

- ・ 例年関東地区で春に開催している年次大会 Imaging Conference JAPAN に代わり、アジア地域を中心とする画像技術に関する国際会議である International Conference on Advanced Imaging 2020 (ICAI2020)を、2020年11月2日(月)～6日(金)の5日間、千葉幕張メッセ国際会議場、にて開催する(第126回日本画像学会研究討論会を兼ねる)計画であった。米国 Society for Imaging Science & Technology (IS&T) が主催する Printing for Fabrication 2020 (Print4Fab2020)と統合して、日本画像学会、日本写真学会、日本印刷学会、IS&Tの共催で開催する企画をしていたが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、ICAI2020単独で予稿集発行(12月を予定)のみとする予定である。Printing for Fabricationと統合した国際会議は、2021年に開催することとした。

### 4) Imaging Conference JAPAN 2020 Spring

- ・ Imaging Conference JAPAN 2020 Spring (第125回日本画像学会研究討論会)を2020年6月3日(水)、4日(木)、5日(金)に京都工芸繊維大学にて開催する計画であった。新型コロナウイルスの影響を鑑み、9月に予稿集を発行するのみとする予定である。

(企画・運営：関西委員会)

(\*1) 日本印刷学会、画像電子学会、日本写真学会、日本画像学会の4学会で構成

### 5) シンポジウム (年間2回)

- ・ 関東シンポジウム：新型コロナウイルスの影響を鑑み、開催時期と内容を検討中である。

(企画：企画委員会)

- ・ 関西シンポジウム：2020年12月4日(金)に大阪府立大学にて開催する。

(企画・運営：関西委員会)

### 6) 技術講習会 (年間2回)

- ・ 第84回技術講習会：9月24日(木)、25日(金)に、東京工業大学 すすかけ台キャンパスにて開催する予定。

(企画・運営：事業委員会)

- ・ 秋技術講習会：2020年12月4日(金)に、大阪府立大学にて「チュートリアル2020」と題して

開催する予定。

(企画・運営：関西委員会)

#### 7) フリートーキング “Imaging Today” (年間2回)

- ・ 学会誌の特集“Imaging Today”の中からテーマを取上げ、解説の執筆者を講師として、気軽なトーキングの会を2020年度中に2回開催予定。
- ・ 第36回フリートーキング：2020年9月18日、テーマ「省エネ技術」を予定
- ・ 第37回フリートーキング：2021年3月、テーマ「プロダクション技術 (Drupa 特集)」を予定

(企画・運営：編集委員会)

#### 8) 技術研究会

- ・ 技術委員会の部会ごとに下記の通り、研究会等を開催予定である。2020年度は11月に開催を予定していた国際会議 ICAI2020 に配慮し、各部会で開催時期を検討中である。

画像感性部会セミナー/勉強会

インクジェット技術研究会

トナー技術研究会

電子ペーパー研究会

サーマル記録技術研究会

電子写真技術研究会

MBD 技術研究会

#### 9) イメージングカフェ

- ・ 平日夕方の時間帯に、仕事帰りに気軽に立ち寄り、最新技術、昔話、他分野情報、専門知識など広範囲なテーマで講師からの話を聞いて、意見交換ができる交流空間であるイメージングカフェを、例年通りほぼ月1回の割合で開催する予定。2020年度は、昨年度までと同様に関西地区での開催も予定している。開催要項案は以下の通り。

- ・ 開催日・時間・会場：

通常企画は、金曜日 18:30～20:20、会場：東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター  
スペシャル企画は、15:00～19:50、会場：東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター

\*開催日時、会場は都合により変更となる場合があります。

- ・ 参加資格：どなたでもご参加可

- ・ 参加費(通常企画)：個人会員(維持会員含まず)1,000円、個人会員以外2,000円

(サマー、年末スペシャルは上記参加費とは異なります。別途ご確認ください)

#### 10) 関連学会との交流

- ・ 米国画像学会 IS&T が主催する国際会議 Printing for Fabrication 2020 をアジア地区の国際会議 ICAI2020 と合同開催する計画であったが、2021年に延期とした。ICAI2020 は単独で予稿集発行のみ行うが、IS&T の主催でオンライン会議として開催される Printing for Fabrication 2020 の企画、論文収集、運営に協力する。
- ・ ICAI 開催を契機として国際交流委員会が中心となり、これに画像関連学会連合会の助力を加えて、中国、韓国、アジアパシフィック地域の画像関連学会とで年次大会等への講師・参加者の相互参加、学会誌への相互の活動状況紹介等によりイメージング材料と技術に関する交流を継続する。
- ・ 感性部会を中心として、日本視覚学会と合同セミナーの開催など継続して連携を深める。

1 1) 「複写機遺産」認定事業

- ・ 2018 年度に、学会創立 60 周年と電子写真技術生誕 80 周年を記念して制定した「複写機遺産」認定事業を、2020 年度も継続して実施する予定である。

1 2) 4DFF 研究会

- ・ 2019 年度事業報告に述べているように、これまでの 3D 造形・再現技術を超えていく新しい価値創造を目指した研究・開発を推進する拠点として、日本画像学会内に新たに 4DFF (4D and Functional Fabrication) 研究会を設立した。4DFF 研究会の取り組みとして、昨年につき、コンファレンス(4DFF2020)開催、研究会開催を予定している。また、昨年準備を行った電子ジャーナルを発行予定である。このうち、4DFF2020 は、2020 年 10 月 16 日(金)に慶應義塾大学 日吉キャンパス(オンライン会議予定)にて開催する予定である。

2020年度学会暦

2020年度															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
月			1									1		1	
火			2			1			1			2		2	
水	1		3	ICJ2020現地開催中止	1	2			2			3		3	
木	2		4	ICJ2020	2	3	1		3			4		4	
金	3	1	5	ICJ2020	3	4	2		4	関西シンポジウム 関西チュートリアル	1	元旦	5	5	
土	4	2	6		4	5	3		5		2		6	6	
日	5	3	憲法記念日	7	5	6	4	1	6		3		7	7	
月	6	4	みどりの日	8	6	7	5	2	P4F&ICAI2020	7	4		8	8	
火	7	5	こどもの日	9	7	8	6	3	2021年に延期	8	5		9	9	
水	8	6	振替休日	10	245号発送	8	9	4	ICAI2020 予稿で開催	9	6		10	249号発送	
木	9	7		11		9	10	5	P4F&ICAI2020	10	248号発送	7	11	建国記念の日	
金	10	244号発送	8	12		10	11	6	P4F&ICAI2020	11		8	12		
土	11	9	13		8	11	12	7		12		9	13		
日	12	10	14		12	13	11	8		13		10	14		
月	13	11	15		13	10	山の日	14	247号発送	9	14	11	成人の日	15	理事会
火	14	12	16		14	11	246号発送	15		10	15	12	16		
水	15	13	17		15	12		16	理事会	11	16	13	17		
木	16	14	18		16	13		17		12	17	14	18		
金	17	15	19		17	14	フリーターキング	16	4DFF シンポジウムonline 開催	13	18	15	19	19	理事会
土	18	16	20		18	15		17		14	19	16	20	20	春分の日
日	19	17	21		19	16		18		15	20	17	21	21	
月	20	18	22		20	17	敬老の日	19		16	21	18	22	22	
火	21	19	23		21	18	秋分の日	20		17	22	理事会	19	23	天皇誕生日
水	22	20	24		22	19		21		18	23		20	24	
木	23	21	25		23	海の日	20	24	技術講習会	19	24		21	25	
金	24	22	26		24	スポーツの日	21	25	技術講習会	20	25		22	技術委員会総会	26
土	25	23	27		25		22	26		21	26		23	27	
日	26	24	28		26		23	27		22	27		24	28	
月	27	25	理事会	29	27	24		28		23	勤労感謝の日	28	25		29
火	28	26		30	28	25		29		24		29	26		30
水	29	昭和の日	27		29	理事会 理事研修会	26	30		25		30	27		31
木	30	28			30		27			26		31	28		
金		29			31		28			27			29		
土		30					29			28			30		
日		31					30			29			31		
月							31			30					

(3) 2020年度予算案  
2020年度 日本画像学会収支予算案

2020年4月1日～2021年3月31日

(単位:円)

科 目	2020年度当初予算	2019年度当初予算	19予算との差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	2,900	2,900	0	
会費収入	20,420,000	20,320,000	100,000	
正会員会費収入	6,800,000	7,200,000	-400,000	シニア会員増により微減
維持会員会費収入	13,120,000	13,120,000	0	維持会社口数維持(左記数字は164口分)
4 D F F 会費収入	500,000	0	500,000	19年度実績*0.8を計上
事業収入	6,100,000	18,555,000	-12,455,000	
研討・研究会参加費	1,300,000	9,855,000	-8,555,000	開催する場合も参加者の安全確保を優先
講習会参加費	1,800,000	4,000,000	-2,200,000	参加者の安全確保を優先
試験標準品頒布収入	2,000,000	1,800,000	200,000	標準キャリア頒布好調を考慮
予稿集・技術資料頒布収入	100,000	100,000	0	
出版物頒布収入	100,000	300,000	-200,000	新刊書籍売上
会誌購読・B N 頒布収入	500,000	800,000	-300,000	19年度実績*0.5を計上
広告収入	300,000	1,200,000	-900,000	展示会収入減
雑収入	0	0	0	
国際会議関係収入	0	500,000	-500,000	国際会議21年に繰延
受取利息収入	300	300	0	
その他の事業活動収入	0	0	0	
その他の事業活動収入	0	0	0	
事業活動収入計	26,523,200	38,878,200	-12,355,000	
2. 事業活動支出				
事業費支出	18,000,000	25,290,000	-7,290,000	
会誌発行費	8,000,000	8,800,000	-800,000	年6回発行
4 D F F ジャーナル発行費	600,000	600,000	0	新規
研討・研究会開催費	2,200,000	7,400,000	-5,200,000	18年実績+増税考慮半期分(含新規研究会)
講習会開催費	1,700,000	1,750,000	-50,000	19年度実績で計上
試験標準品作製費	1,400,000	1,000,000	400,000	標準キャリア作成費
出版物作製費	200,000	200,000	0	新刊書籍出版分
デジタ化費	1,300,000	900,000	400,000	PC増設、オンライン会議システム費
学会賞	660,000	660,000	0	通年並
諸委員会費	1,000,000	2,020,000	-1,020,000	会食等は自肅を要請
理事会・評議員会・総会費	800,000	1,510,000	-710,000	会食等は自肅を要請
国際会議関係支出	0	800,000	-800,000	国際会議21年に繰延
4 D F F 研究会支出	140,000	0	140,000	19年度実績で計上
国際交流費	0	250,000	-250,000	海外からの渡航は自肅
管理費支出	12,360,000	12,682,000	-322,000	
通信運搬費	800,000	650,000	150,000	人の移動の代替として増見込
事務費	1,300,000	1,300,000	0	
事務員費	10,000,000	10,200,000	-200,000	
事務機械化費	0	100,000	-100,000	科目なし
雑費	100,000	50,000	50,000	新型コロナ対策費等
租税公課	0	222,000	-222,000	19年度は課税なし
管理諸費	60,000	60,000	0	
退職給付費用	100,000	100,000	0	
法人税等支出	70,000	70,000	0	
その他の事業活動支出	0	0	0	
事業活動支出計	30,430,000	38,042,000	-7,612,000	
事業活動収支差額	-3,906,800	836,200	-4,743,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	0	500,000	-500,000	国際会議準備金は積み立て休止
器具備品取得支出	0	0	0	
器具備品購入支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	500,000	-500,000	
投資活動収支差額	0	-500,000	500,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	-3,906,800	336,200	-4,243,000	
前期繰越収支差額	27,267,976	22,657,102	4,610,874	
次期繰越収支差額	23,361,176	22,993,302	367,874	